

【テーマ：空き箱】

認定こども園 品川区立旗の台保育園 5歳児

設定の理由：日頃から作ったり描いたりすることを楽しむ姿があり、子どもたちが主体的に考えたり試したりしながら楽しさや満足感、達成感を感じられるようにするため

活動名①：好きなものを作ってみよう

【活動のねらい】・イメージするものを自分なりに表現して楽しむ

【用意した環境】：大きさの違う箱を大きさごとにかごに入れて配置
空き箱、セロテープ、養生テープ、ガムテープ、
ボンド

【活動内容】・様々な大きさや硬さの空き箱を自由に選び、好きな物を作った

【子どもたちの様子】

- ・空き箱を設定すると、自分のイメージに合う箱を選んでいった
- ・箱を貼り合わせるがうまくいかず困っていると、他児がアイデアを伝え、一緒に作っていた。完成すると喜びを共感していた
- ・完成した作品を皆に見てもらうことを喜んでいた

【保育者の振り返りと気づき】

- ・空き箱を見た瞬間、子どもたちの心が動いたことが表情からわかった。子どもはどのような時に心が動き探求心が芽生えるのか考えていく
- ・空き箱の素材により、扱う時の力加減の調整が必要であることを実体験から学んでいた。たくさん失敗して気づいていくのだと思う



活動名②：まちを作ってみよう

【活動のねらい】・自分のイメージするものを自由に作ったり、友達とイメージを共有したりしながら表現することを楽しむ

【用意した環境】：空き箱は、大きさや種類ごとにかごに入れて配置
準備した物：ICT教材、セロテープ、養生テープ、空き箱、ボンド、
広告紙、ガムテープ、テープの芯、ポリエチレンテープ、
トイレットペーパーの芯、折り紙、紙テープ、画用紙

【活動内容】・ICT教材「まちたんけん」を経験したり、散歩で街中にあるものを見たりして、それを空き箱で再現する活動を行った

【子どもたちの様子】

・日頃保育園や家の周辺環境を見たり、ICT教材で街探検をしたりしたことから、街中にある様々なものを再現する
・建物に階段や滑り台などを貼り付ける時に、すぐにとれてしまうと、「長くしたらどうかな」などと、どのようにしたらよいか、今までの経験を生かして接着方法を考えたり、付属物自体を改良(長さや厚みを変えるなど)したりしていた

【保育者の振り返りと気づき】

・普段の子どもたちの姿を把握し、どのような素材を設定すると夢中になって作る姿につながるのかを考えて材料を選ぶことで、意欲的に活動に取り組む姿が見られるようになった
・試行錯誤を繰り返した経験から、素材の特徴を捉えられるようになり、素材や用途に合った道具選びができるようになった



活動名③：ひまわりたうんを作ろう

【活動のねらい】・季節の自然物を取り入れ、自由に作ることを楽しむ
・友達とイメージを共有し、一人の作品からクラス全体の作品が作られる喜びや満足感を感じる

【用意した環境】：空き箱を大きさや種類ごとにかごに入れて配置した
準備した物：空き箱、養生テープ、ボンド、ガムテープ、自然物(どんぐり、木の枝など)、画用紙、テープの芯、折り紙、セロテープ、トイレットペーパーの芯、ポリエチレンテープ、紙テープ、マスキングテープ

【活動内容】一人一人の家や店をあつめ、皆で街「ひまわりたうん」を作った

【子どもたちの様子】

・散歩先で自然物を拾うと、イメージを巡らせ、木の枝をボンドで貼り合わせて、はしごや物干し竿に見立てていた
・トイレットペーパーの芯にボンドを付けるために適した道具を考えていた
・自分の作品が出来上がると、皆で街のイメージを共有し、「ひまわりたうん」という街並みを作り上げていた

【保育者の振り返りと気づき】

・一人で作ったり友達で作ったりした作品が、皆でイメージを共有し、「ひまわりたうん」というクラス作品につながった。完成した作品を見て達成感や満足感を感じているようだった
・明確な目的に向かい、完成させるために必要な材料や道具を選び、イメージを膨らませ、それを表現する力がついてきた

